

## 履修単位様式

科目名	保健体育	英語科目名	Physical Education
開講年度・学期	平成 27 年度・後期	対象学科・専攻・学年	1 年 全学科
授業形態	実技	必修 or 選択	必修
単位数	2	単位種類	履修単位 (30h)
担当教員	三原 大介	居室 (もしくは所属)	講義棟 2 階研究室
電話	0285-20-2184	E-mail	mihara@oyama-ct.ac.jp
授業の到達目標	授業到達目標との対応		
	小山高専の教育方針	学習・教育到達目標 (JABEE)	JABEE 基準
1. 陸上競技の「走」の基本技術を理解し、早く走ることができること。 2. 陸上競技の「跳」の基本技術を理解し、記録を伸ばすことができること。 3. 陸上競技の「投」の基本技術を理解し、正しい投げ方ができること。 4. バスケットボールのルール・審判法を理解し、ゲームを行うことができること。	⑥ ⑥ ⑥ ⑥		
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法			
1. 「走」の基本技術を理解し、50m・男子 1500m・女子 1000m の距離をリズムよく走ることができる。(5 段階評価) 2. 「跳」の基本技術を理解し、走幅跳・走高跳・棒高跳の正しい踏み切り、空中フォームができる。(5 段階評価) 3. 「投」の基本技術を理解し、ターボジャブ・女子用の円盤か砲丸を使用して正しい投げ方ができる。(5 段階評価) 4. バスケットボールのルール・審判法を理解し、ゲームの中で基本技術ができる。(5 段階評価) ルールを理解し、基本技術であるサービス・ストローク・スマッシュ・フットワークができる。(5 段階評価)			
評価方法			
1. 50m、男子 1500m・女子 1000m またはシャトルランの記録測定を行い 5 段階評価する。 2. 立幅跳、走幅跳または走高跳・棒高跳の記録測定を行い 5 段階評価する。 3. ハンドボールまたはターボジャブ、女子用の円盤か砲丸を使用して記録測定を行い 5 段階評価する。 4. バスケットボールのドリブル・パス・シュートの試験を行い 5 段階評価する。 *授業態度、基本的技術、チーム成績を総合的に勘案し、A、B、C、D、E の 5 段階で評価する。 *基本的に出席を重視し、欠課数が 1/3 を超える者は評価の対象にしない。			
授業内容			
陸上競技 ・ウォーミングアップ・クールダウンの方法、歩き方、腕ふり、走の基本・・・1 週 ・中距離練習、審判法、記録測定・・・2 週 ・跳躍動作の技術、審判法、記録測定・・・3 週 ・投てき動作の技術、審判法、記録測定・・・2 週  *雨天など天候不順の場合は、室内競技を実施する。			
バスケットボール ・班分け、ルール説明、基本技術のドリブル・パス・シュートの練習・・・2 週 ・審判法、ゲーム・・・4 週 ・スキルテスト・・・1 週			
キーワード	陸上競技、バスケットボール、コミュニケーション		
教科書	特になし		
参考書	特になし		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	保健体育		
現学年の関連科目	保健体育		
次年度以降の関連科目	保健体育		
連絡事項			
学校指定の体操着、体育館シューズを着用すること。それ以外は認めない。用具は学校で用意する。自分のグローブを持参しても良い。体育着忘れは減点かつ実技参加は認めない。遅刻は減点、遅刻 3 回は、授業 1 回の欠席にする。各クラスの週番は、必ず授業前の用具の準備、連絡事項の伝達を行うこと。			
シラバス作成年月日	平成 27 年 2 月 18 日		